



葉山町

議会だより

150号 令和4年11月15日発行



- 令和3年度決算 ... 2
- 第3回定例会報告 ... 7
- 委員会レポート ... 11
- 一般質問は12人が登壇 ... 14



... 2
 ... 7
 ... 11
 ... 14

家山町... クラブの公認艇です
 ... 艇を貸出します
 ... 町民に貸出いたします!!



葉山町議会 検索



写真：ビックレスキューかながわの体験コーナー

※表紙説明は裏面にあります。

新型コロナ流行下2年目の事業執行

課題
とした事業



小学校水泳事業

今後も民間プールに頼るのか



風水害時ホテル宿泊補助

69世帯登録 更なる周知を



イノシシ被害は続く

40頭捕獲



返礼品の一つ
体験講座

ふるさと納税

約5000万円の赤字



クリーンセンター再整備

生ごみ資源化が課題



空いている家 相手いる家

葉山町 空き家バンク

空き家バンク立ち上げ

空き家の有効活用を

令和3年度決算を認定

評価
した事業



ハザードマップ作成
高潮・土砂災害を全戸配布



コミュニティ・スクール
南郷中学校でスタート



電子商品券（つつじカード）
発行額1億6526万円 利用率95.5%



子育て世帯への支援
対象児童に10万円



環境基本計画
中学生の声集まる



粗大ごみ収集
8月から民間事業者へ委託

決／算／総／括／質／問

5人が質問しました



コロナ禍での財政

飯山 葉山の土地評価が3年前より下がったことはショックだ。資産価値を上げるためにどうするのか。

政策財政部長 テレワーク増加で郊外移住が増えるので、快適な働き方ができる環境整備を目指す。

飯山 経常収支比率83%は驚愕な数値だ。コロナ要因を除いた場合にはどうなるのか。

政策財政部長 コロナ要因で歳入分の分母が増加したが、歳出分の分子は減っていない。実態とは乖離する。

飯山 財政自由度増加は前進のチャンスだ。町をどうする。

町長 将来にわたって生きる安心を得られる場所であり続ける町づくりを続けたい。

飯山 インフレが加速する見通しだが、大規模事業への影響にどう対処するのか。

環境部長 インフラ整備はしっかりと行わなければならないが、ごみ処理施設整備への影響は今のところない。

笠原 コロナ禍での令和3年度施政方針は、財政判断が不確だったのではないかと。

町長 年度途中の1月にかけてまとめたので、その通りだ。

笠原 地方交付税、国庫支出金の歳入比率は3年度も高い。コロナ禍による特別な予算か、また30億円超えの基金の使途計画は。

政策財政部長 地方交付税はコロナの影響で増額となり、基金残高も従前に比べ積み増した。4年度中には、大規模

事業を想定した財政推計の組み直しをしたい。

町長 さまざまな不確定要素はあるが、随時の更新も含め計画に基づく行政を進める。

窪田 厳しい予算組みに、税収はコロナ禍の影響はない決算となった。利率が倍になった臨時財政対策債を満額借り入れたが、基金に積み増した。高齢化率も上がる中、税金を納めている方への使い方は。

町長 基本的な福祉など、従来通りにできたと思う。

近藤 財政調整基金の12億円は緊急時のためと言われるが、コロナ禍の緊急時にこそ町民福祉に活用すべきでは。

町長 具体的にどのような方法があるか学ばせていただく。

近藤 観光協会自立のため赤字事業を町が受けたらどうか。

町長 私も課題だと思ふ。

近藤 提案していた湘南国際村地区への都市計画税の課税について、進捗状況は。

町長 税として課税するのは難しい。負担金や維持経費として議論していきたい。

行政の充実

窪田 消防職員体制はどうか。

消防長 欠員が生じているが、知恵を絞って対応している。

近藤 令和3年度に消防職員が5人中途退職している。異常事態ではないか。

消防長 55人体制は維持したい。



消防職員の充足を

子ども・子育て

鈴木 子どもの成長を社会全体で支える視点で、給食無償の自治体がある。人口減の当町も目指す施策だ。まず中学校給食実施の状況はどうか。

教育部長 上山口小学校を親校とする提供で予算化した。

窪田 逗子市は小児医療費助成を高校生まで拡充するが。

町長 葉山に住むメリット、全町民への還元を優先したい。

近藤 中学校給食を上山口小学校の調理室から運ぶための工事が進んでいるが、住民説明会での要求にどのように答えるのか。

教育長 町民の方々の指摘を真摯に受け止める。

健康・福祉

鈴木 健康増進施設利用費用助成の施設と費用の拡充をすべきだが、利用状況はどうか。

福祉部長 60代から70代の利用率が高い。

鈴木 高齢者送迎サービス業務委託拡充の状況はどうか。

福祉部長 対象を要介護1以上か重度心身障害者で介護保険料5段階以下に拡充した。

鈴木 自動水栓化の進展は。

教育部長 図書館・しおさい公園・南郷上ノ山公園で実施。

窪田 非課税世帯やアルバイト等で町税を納めない方には、収入面でコロナの影響がある

のでは。生活相談強化等は。福祉部長 生活保護受給者は増えてはいる。社協と連携しその人なりの支援策を考える。

まちづくり

笠原 近隣市など多方面との協力協同行政運営の考えは。町長 インフラ整備ではごみ処理や下水事業等、また医療や福祉関係等、広域連携することでの質が向上するものや、財政効率がよくなる事業はどんどん進めたい。

鈴木 無電柱化への進展は。町長 勉強会と、町内の可能性区域実現に向けて、先行の県内での調査が始まった。

地球温暖化

窪田 温暖化対策を進めているが状況が見えにくい。分かりやすく数値化し情報発信を。環境部長 情報は出したい。

その他

鈴木 安倍元首相の国葬に合わせ記帳台設置要望があるが。町長 設置する。

町長・教育長質問

旧役場跡地の早期利用

町長 令和7年度までの葉山町保有保全の方針において、未利用町有地については、地域コミュニティ施設設置の方針を定め、再配置候補地として活用を検討する。

問 令和7年より早めるべきではないか。

町長 地域の方々の意見を求めていきたいので、もう少し早く時間をかけたい。



旧役場跡地

空き家対策の推進

町長 宅建協会とも協定を結び、円滑な取引を支援する予定であったが、コロナ禍で葉山の不動産市場に物件が見当たらない状況になっている。また管理不全物件については、危険度に応じて、特定空き家指定の手續きに入りたい。

ふるさと納税のあり方

町長 税の流出が当町のみならず、多数の自治体において課題となっている。制度化されてから14年が経過し、町としては一刻も早い制度の改正を求めるところだ。「広報葉山」では、町民にこの事実をお知らせする。現行制度においては、返礼品をより充実させるため、町内の生産者の皆さまのお力を賜りたい。今後は、寄附のチャンネルを増やすことや、*NFT等の仮想通貨を利用した財源確保に向けても、取り組みを進める。

※偽造不可能なデジタルデータ

住宅リフォーム資金助成

町長 町内の経済振興に有効であり、商工業者と住民の接点を作るため、今後も継続していく。

問 この事業は10年以上が経過し、取り扱い金額も1億円を超えている。一度利用した町民は再度利用できないので、10年とか20年とかで区切りをつけ、再度利用できるように改正できないか。

町長 持ち帰り、検討する。

公共施設における環境対策

町長 ペットボトルやビニール袋等、プラスチック削減は進んでいる。老朽化による大規模補修について議論を進める中で、太陽光パネル等設置を進める。

教育長 上山口小学校の排水等、水質環境の課題についても、町全体の計画と整合性を図りながら、実施していくものであると認識している。

町民からの相談窓口一本化

町長 転入時の手続き等、各課にまたがる業務を点検したが、部署間の物理的な距離があるため、一本化は難しい。「おくやみサポート」は個人の事情に配慮して、ご本人が動くことなく、一カ所に対応している。

問 今後の予定は。

町長 令和5年度から始まる税納付の電子化、*DXに合わせ、キャッシュレス化等の検討を進めていく。

※デジタルによる変革



おくやみサポート窓口

決算特別委員会の動画



決算特別委員会審査報告

土佐洋子委員長のもと、中村和雄副委員長、石岡実成、金崎ひさ、荒井直彦、近藤昇一、伊東圭介の各委員が審査を行いました。

一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び下水道事業会計は全会一致で、後期高齢者医療特別会計は賛成多数で可決しました。

議論の中から抽出された指摘・要望は次のとおりです。

《指摘》
1 監査意見書にもあるよう事務処理は適切にすべきである。

《要望》
1 選挙管理委員会の職員体制を強化されたい。
2 しおさい博物館に学芸員を常駐されたい。
3 旧役場跡地の利用計画を早期に策定されたい。
4 住宅リフォーム資金助成制度の拡充を図られたい。



しおさい博物館

5 公共施設への再生可能エネルギーシステム及び公共下水道・合併処理浄化槽の率先した導入を図られたい。

なお、この指摘・要望については、令和5年度の予算編成に向けた議会からの政策提言として、町長に対し文書回答を求めています。

本会議における令和3年度の決算審議

近藤昇一、金崎ひさの両議員が討論

主な討論内容

一般会計

- 基金を積みすぎである。
- もっと福祉に目を向けるべきである。
- 公共交通会議の開催が1回のみだった。
- 空き家バンクにまだ登録がない。
- 旧役場跡地を利活用してほしい。
- 産後ケアの拡充を望む。
- クリーンセンターの入札が1者のみだった。
- 消防職員の充足率向上を求める。
- レスキュー艇の記載漏れなど、事務上のミスが目立った。
- 議会からの指摘・要望を、令和5年度予算に生かしてほしい。
- NPO法人葉山まちづくり協会に、運営上の問題がある。
- たんぽぽ教室の「個性を大事にする」理念がゆらいでいる。町職員が責任者になり、理念を守るべきである。
- 教育費の100%の執行を望む。

国民健康保険特別会計

- 保険料を抑えるための努力が見える。

後期高齢者医療特別会計

- 国の施策であるが、国民を年齢で区切り、差別する制度なので認められない。
- 窓口負担の2割化は、国民の生存権を脅かすものだ。

介護保険特別会計

- 保険料を抑えるために、所得段階を14から16段階へと調整した。

下水道事業会計

- 公共下水道への接続率向上を望む。

認定

一般会計……………全会一致
国民健康保険特別会計……………全会一致
後期高齢者医療特別会計……………賛成多数
介護保険特別会計……………全会一致
下水道事業会計……………全会一致

第3回 定例会

9月6日から10月11日まで開催し、令和3年度決算や4年度補正予算、陳情等の審議を行いました。

令和4年度葉山町一般会計補正予算（第3号）

歳入

地方特例交付金（207万円）

減収補てん特例交付金

主な質疑

問 固定資産税、都市計画税の減収分に対して補填とあるが、コロナ対策の減収補填と関係があるのか。

答 所得税で引ききれなかった住民税の分を控除することによる減少分の補填だ。

普通交付税

（2億9358万円）

社会保障関係費の増や臨時財政対策債交付への振替の減等、調整決定後の補正額

教育費国庫補助金（442万円）

新型コロナウイルス感染症対策の保健衛生用品等に係る経費（補助率1/2）

定例会報告

歳出

財政調整基金積立金

（2億円）

年度末現在高見込

12億7443万円

公共公益施設整備基金積立金

（6億3000万円）

年度末現在高見込

20億4407万円

企画調整事業

（324万円）

葉山町バス・タクシー事業者支援事業補助金

燃料費高騰の影響を受けている町内を運行する交通事業者に対する補助

者に対する補助

主な質疑

問 他自治体では個人タクシー事業者も対象としているが。

答 今回は、逗子駅構内に乗り入れるタクシー組合と京急バス逗子営業所から要望を受けた。個人タクシーは、状況等を見ながら検討していく。

社会福祉費

各種福祉団体等補助金

（375万円）

9月30日付で廃止となる町立の障害者支援施設「葉山はばたき」の利用者が、新施設

に移行することに伴い運営法人に対し運営費の一部を補助・障害者施設指定管理業務推進事業（△485万円）

葉山はばたきの廃止に伴う指定管理料及び修繕料の減額

主な質疑

問 移行に係る補助のみか。

答 指定管理で年950万円支払っていたが、中途での移行であり、あと2年半、引き続き支えていく試算上の1年分の補助金と考えている。



新はばたきの食堂

都市公園管理費

（1746万円）

南郷上ノ山公園屋外公衆トイレの改修工事

主な質疑

問 ＊ピクトサインと照明、男子トイレの扉やダストボツ

クス設置は。

※情報や注意を促す視覚記号

答 ピクトサイン、ダストボツクスは設置する。照明器具は人感センサー式を取り付ける。扉は設置せず壁で仕切る。



南郷上ノ山公園トイレがきれいになります

小学校情報教育推進事業

（433万円）

中学校情報教育推進事業

（187万円）

故障等に備え小中学校のタブレット端末予備機の購入

主な質疑

問 1年間で自然故障台数が30台で全体の3.5%だが、どういふ事象なのか。

答 メーカーからは5%未満は発生する可能性があるとのことだ。自然故障のうち59台はWiFi端末の不良だが、既に解消した。

安倍元首相の国葬に反対する意見書
(議員提案)

提案説明



近藤

国葬の法的根拠がないまま、多額の国費支出を閣議決定した。弔意を国民に押しつける危険は払拭されていない。国葬は中止にすべき。

提案者への主な質疑

問 国葬反対の予算執行停止の仮処分を、東京地裁等が退ける決定を出したが、見解は。

答 最終決定ではない。

問 海外から弔意の申し出や二国間会談の予定もあるが。

答 お悔やみは、手紙などで安倍家が受け取ればよい。外交は国際会議を設定すべきだ。

反対討論



土佐



伊東



鈴木

東日本大震災追悼式を閣議決定で実施した事例がある。

これまでの業績があり、海外からの弔意を受ける機会を持つことも重要だ。

賛成討論



窪田



石岡



金崎



中村

旧統一教会との関係が解明されていない。

国民の国葬への評価が分かれる中、政府が独断で進むことは国民を分断させるものだ。

安倍元首相の国葬に反対する意見書

国葬の要件を定めた法規がないもとの実施は法治主義にも財政民主主義の原則にも違反するものであり、元首相を礼賛することは政治的立場・姿勢を、国家として全面的に公認・賛美することになる。また弔意を個々の国民に対して事実上強制することにつながるものが強く懸念されることから、安倍元首相の国葬に反対する。

陳情「葉山町契約規則改正を求める」

葉山町プロポーザル実施取扱要綱では、受託候補者の

特定までが定義されているが、特定後の随意契約の取り扱いが規定されていない。契約者が増加費用を必要とした場合、町負担額は町長及び契約者が協議して定めることとなり、不正の温床となる可能性が懸念される。よって、随意契約後の増額は協議に応じないことができるように契約規則の改正を求めているものです。(総務建設常任委員会で審査し、本会議で決定)

委員会審査結果

陳情提出者から意見陳述を受け審査を行いました。

委員からは「現段階では、規則改正はせず、社会情勢にあわせ改正をすべき」と趣旨了承を求める意見がありましたが「陳情提出の背景として、現行の契約のあり方に疑問を持たれている以上、規則改正はすべき」という意見と「現行の葉山町契約規則に問題はないが、今後増加することが想定される公募型プロポーザルによる契約は時代の趨勢に

より柔軟な対応を図るべきだ」という不採択を求める意見に分かれ、採決の結果、賛成少数で不採択としました。

本会議

議案に賛成討論



近藤

町民からの不信感を解消するためにも、契約規則の見直しが必要だ。

議案に反対討論



金崎



中村

時代に合わせ協議が必要だが、町として税金の無駄がないよう取り組みを求める。

令和4年度葉山町一般会計補正予算(第4号)

歳入

国庫支出金

・保健衛生費負担金 (3735万円)

・保健衛生費補助金 (4625万円)

・地方創生臨時交付金 (5096万円)

教育費雑入(△4400万円)

電力・食料品等の価格高騰に伴う子育て支援策として、葉山町内学校給食費(4400円/人)全額を免除する

令和4年11月から5年3月までの5カ月分

主な質疑

問 10月から補助する自治体もあるが。

答 10月の給食費は9月に引き落とされてしまうので、直近の11月からを対象とした。

問 遡及して還付できないか。
答 やれないことはないが、対象数も多く事務的に煩雑となり11月からとした。



給食費の免除

歳出

企画調整事業

(324万円)

葉山町バス・タクシー事業者へ、下半期も引き続き支援を行なう補助金



燃料高騰はいつまで続くのか

各種福祉団体等補助金

(48万円)

燃料費高騰の影響を受けている町内を運行する福祉輸送事業者に対する補助

主な質疑

問 バス・タクシー・福祉輸送事業者の補助を行うが、介護施設等への補助の考えは。

答 要望はあるので12月補正に向け検討している。

問 補助金は燃料費負担者に渡すのか。

答 事業主は一定のルールに基づき運行していると考えるが、補助金の趣旨をしっかりと伝えていく。

価格高騰緊急支援給付金給付事業

(1億8430万円)

電力・食料品等の価格高騰の影響を踏まえて住民税非課税世帯等に給付金を支給する

1世帯5万円・見込世帯数3600世帯

問 世帯数の増減動向は。

答 前は過去の見込みを上回る実績があったため、若干の余裕を見込んだ。今後、適切な時点で情報提供をしていく。

新型コロナウイルスワクチン

予防接種事業(8236万円)

5回目追加接種(オミクロン株対応)等に係る経費に伴う増額

主な質疑

問 予防接種事業の状況は。

答 町内8医療機関で10月1日から対応している。集団接種は、福祉文化会館で10月21日から開始する。

問 接種想定人数と、国への要望状況は。

答 2万1000人を想定している。国庫負担金・補助金申請は、想定人数をベースに算定する。

教育委員会委員の任命について

鈴木伸久氏を再任命しました。

学校給食費の管理に関する条例の一部を改正する条例

エネルギー・食料品価格等の高騰を受け、新たな支援策(減免)を講じる必要があるため

主な質疑

問 これまでの就学援助の給食費減免は対応できていたのか。

答 就学援助は国等からの補助金があり、対応できている。

問 中学校も該当になるのか。

答 条例は該当するが、中学校牛乳給食は5月に1年分を引き落とししているので、今回の補正予算給食費免除の対象にはしていない。

問 遡及して還付する方法は。やれないことはないが、現状では対象としていない。

問 アレルギー食の子どもへの減免はないのか。

答 除去食は提供しているが、給食を食べていない数人からは、給食費は徴収していない。

提案説明

葉山港の適正な港湾運営を確保する意見書(議会議案)



伊東

葉山港は、県指定の指定者が管理業務を行なっている。新たな指定管理候補者は、住民監査請求など不安視する声が寄せられている。葉山港が今後も適正な港湾運営がなされるよう要望するため、県に対し意見書の提出を求める。



葉山港の適正な管理を

賛成討論



窪田

指定管理候補者は他地区で条例違反を繰り返し、行政指導・過剰金まで科せられている。これらを踏まえ、葉山港の安全を図るため、適正な港湾運営がなされるよう確認を要望する。



待寺議長と大島県土整備局長

県へ

葉山港の適正な港湾運営を確認する意見書

葉山港の指定管理業務は多岐にわたり、町は幅広い連携を行っている。新たな指定管理者候補は利用者の信頼関係構築について不安視されることがないよう、県として事実関係の確認と公表をすることを求めるとともに、適正かつ人々との親和性のある港湾運営がなされることの確認を要望する。

皆さまから寄せられた陳情の審査

委員会レポート

町の問題・課題の改善、対策を議論します。

総務建設

所管事務調査

まちづくり条例について

委員から提出された「現状のまちづくり条例についての課題や改善の必要性」について、担当課の見解を伺い、意見交換をしました。

町側は「現行のまちづくり条例について、改正の必要性はなく、指導も含め充分履行できている。仮に、時代の背景を含め加える指導などあるとすれば、規則改正で対応していきたい」という答弁でした。

今後は、課題や疑問点などを再度精査し「条例改正の必要性について」慎重に議論を重ねていく予定です。また、議長の公約にも掲げられており、議長の意向もふまえ方向性を定めていきます。

視察報告

1 千葉県安房郡鋸南町

都市交流施設・道の駅保田小学校



生まれ変わった小学校

廃校になった小学校をリノベーションし、道の駅として地域活性の一大拠点とした着眼点と、独創的な再利用には目を見張るものがありました。また、地域の関わりを深め、さまざまな意見を反映させ、公開型プロポーザルで事業を展開していったということとはとても興味深い点でした。

2 千葉県長生郡睦沢町

むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷

PFI法に基づく民間提案制度による日本初の道の駅として整備された施設。地域優良賃貸住宅、防災広場、交流施設等を兼ね備え、拠点内は、地場産天然ガスを利用した熱電併給を導入しています。町の環境や特性をしっかりと理解し、固定概念では到底辿り着けない理想や可能性を追求しながら、官民が一体となって事業を進めている点が優れていました。



災害に強いまちづくり

3 茨城県鹿嶋市

いきいきゆめプール

小中学校の屋外プールの老朽化に伴い、1カ所に集約して屋内プールを新築し、午前中は学校プール、午後は一般の住民も利用できる利便性の高い複合型のプールとして運用されている施設です。

これは、当町の公共施設再編に向けた貴重な先進事例の一つであり、こうした施設の運営が総合型地域スポーツクラブに移管されている点も含め、参考にすべきものと思いました。



町でも望まれる複合型プール

委員長 石岡実成

教育民生

令和5年度における「重度障害者医療費助成制度」の継続についての陳情

令和5年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」の継続についての陳情

審査結果

審査の効率化をはかるために、2つの陳情を一括審査しました。

委員からは「令和5年度の前算編成方針が示される前ではあるものの、重度障害者医療費助成、透析治療への通院支援共に令和4年度と同様に継続していく意向が示された」との意見でまとまり、全会一致により採択しました。

加齢性難聴者への補聴器購入助成の速やかな検討を求める陳情

審査結果

委員からは「願意は、更なる検討を求めているもので、加齢性難聴が増加傾向にある中、検討を前へ進めるべき」と「令和3年第1回定例会に提出された同内容の陳情は趣旨了承であったが、国に対して

意見書を提出している。採択された際には、意見書で求めた『特定健康診査等に併せて聴力検査・健診を実施し、定期的な検査・健診機会を創設するよう求める』に加え、前回より一歩進めた内容の『国に対して公的助成を求める』の2点を国に対し意見書を提出すべき」との意見でまとめ、全会一致により採択し、国に対して意見書を提出することとしました。

特定健康診査等における聴力検査・健診の導入及び加齢性難聴者への補聴器購入助成を求める意見書

加齢性難聴は定期的な聴力検査・健診による早期発見が重要であり、次の事項について対策を講じられるよう要望する。

- 1 定期的な検査・健診機会を創設すること。
- 2 難聴による認知症予防への必要な施策を講じること。
- 3 補聴器購入に対する助成制度を創設すること。

高齢者のタクシー料金への助成の速やかな検討を求める陳情

審査結果

委員からは「葉山町地域公共交通会議で多様な方法を検討しているものの、結論が出るまでには時間を要する。暫定的な手段という意味からも調査・研究・検討は必要である」との意見でまとめ、全会一致により採択しました。

所管事務調査

・下水道を活用した紙オムツの減量化に向けた社会実験について
 ・官民連携グリーンチャレンジについて
 ・中学校給食の進捗状況について

委員長 荒井 直彦

議会広報

所管事務調査

議会だよりに興味を持ってもらうために「読みたくなる広報の作り方」をテーマとして、全国広報紙コンクールで総務大臣賞を受賞した当町政

策課の「広報葉山」担当者を講師とする勉強会を実施しました。

伝わる広報作成についてのさまざまなノウハウや、議会だよりの見た目などの改善点について指摘を受けました。今号よりさっそくこれらの知見を反映させていきます。

議会改革

「場外傍聴者への一般質問資料の見える化」は議場改修工事が終了したため委員へのデモンストレーションを行い、モニター等への表示方法を検討し、これまでのやり方を継続することとなりました。インターネット中継資料の配信については、資料の規定を定める必要があるため、今後は議会運営委員会で検討します。

編集会議

一般質問以外の全ページについて文字数を減らすことを徹底することになりました。特に委員会レポートは各委員長への原稿作成依頼は従来通り行うものの、当委員会では内容を検証することにします。

委員長 飯山直樹

議会運営

陳情「葉山町議会基本条例」の改正を求める

町の重要施策そのものを議会で議論審議できるよう議会基本条例の改正を求めているものです。

委員からは「予算での対応が可能なので、あえて議決事件として盛り込む必要はない」との意見があり、全会一致により不採択としました。

視察受け入れ

6月27日に福島県川俣町議会からの視察があり、議会改革に関する取り組みについての研修を行いました。



川俣町議会の皆さま

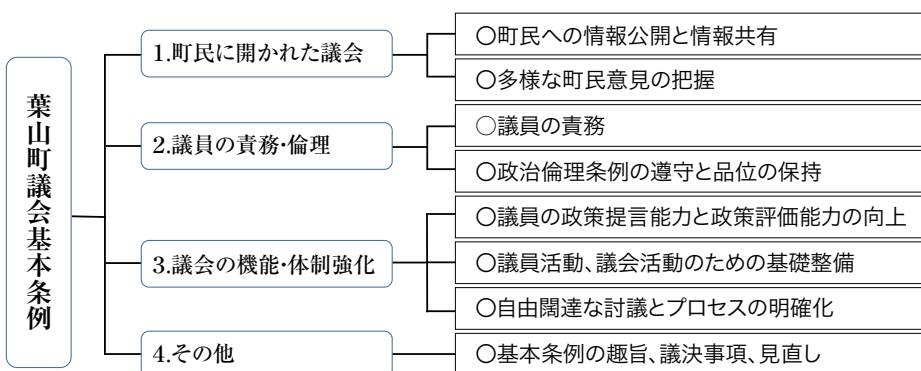
議会改革

議会基本条例の検証

検証体系図を決定しました。今後は前文を含め全条文にわたり検証します。

委員長 金崎ひさ

葉山町議会基本条例 検証体系図



全員協議会

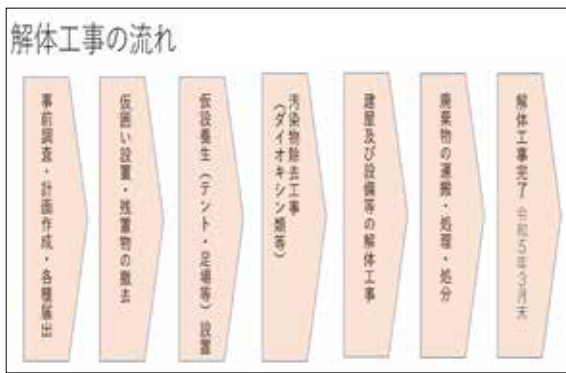
クリーンセンター再整備

解体工事懸念事項

・仮囲いの設置等で工区を仕切るため、場内の作業スペースが狭くなる。よって、ごみ処理業務における作業員の安全確保。

・高所作業や汚染物を取り扱う危険作業が始まるため、施工業者等の安全確保や周辺環境対策。

・大型重機や特殊な車両が使用されるため、場内及び通路等の安全確保。



問 安全確保の人員配備は。

答 作業員は6人程度。場外の交通整理は誘導員を1〜2人つける。

問 煙突内部での作業員の安全性の確保は。

答 煙突頭部にクリーンルームを設け、全身防護で作業する。

問 除染方法は。

答 高圧水洗とし、その水は仮設の排水受で溜め、水処理をし、その水で再度除染する。最終的には焼成をし、無毒化する。

問 燃やすための排出方法は。

答 20tの大型のバキュームカーで吸い込み運搬する。

問 解体工事の時間帯と終了時期は。

答 平日17時まで。令和5年1月〜2月末の予定。

問 騒音対策は。

答 足場を組み、テントを張る。

設計・設備

問 土砂災害特別警戒区域内での設計変更が見られるがこのゾーンはプロポーザル前に分かっていたのではないかと業者が失念していた。

問 管理棟の半分がレッドゾーンに入っているのに、その位置は窓が付けられないのか。

答 開口部がなくて済む倉庫、トイレなどを考えている。

問 太陽光発電については。

答 当初の案にはないので協議を進めている。

問 これだけの大きなプロジェクトで、施工管理について環境課職員のみで、大丈夫なのか。

答 ほぼ3人で専任している。この体制で進めていける。



クリーンセンター イメージ図

生ごみ処理

問 生ごみの定義はいつ決めるのか。

答 令和4年度中に決める。

問 真名瀬の実証実験は。

答 36世帯の協力を得、オムツ保管容器を配布した。生分解性袋の配布は行っていない。

問 逗子市との連携が必須だが。

答 究極の話、別々の方法もありうる。

問 それはあり得ない。一刻も早く町の方針を決め、協議に入るべきでは。

答 生ごみと一緒に堆肥化はできないと思うが。

問 法律上、一般廃棄物と産業廃棄物の違いが難しいが、工夫する。

問 町としてデザインビルドオペレーションではなく、デザインビルドと包括管理委託という方式を選んだ理由は。

答 既存の施設の維持管理があるので、その対応をした。

問 SPCとは。

答 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。



答 しっかりと逗子市と協議をする。

問 生ごみ自家処理推進は。

答 推進しているが、燃やすごみの46%は生ごみだ。

葉山浄化センター等整備、運営事業

問 競争的対話の参加状況は。

答 複数のグループの申し込みがあり、オンラインで実施した。事業者登録選定委員会メンバーは参加していない。

問 下水道汚泥からの堆肥化の考えは。

答 できると思う。さまざまな角度で検討したい。

問 生ごみと一緒に堆肥化はできないと思うが。

答 法律上、一般廃棄物と産業廃棄物の違いが難しいが、工夫する。

問 町としてデザインビルドオペレーションではなく、デザインビルドと包括管理委託という方式を選んだ理由は。

答 既存の施設の維持管理があるので、その対応をした。

問 SPCとは。

答 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

問 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

答 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

問 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

答 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

問 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

答 特別目的会社で出資して法人をつくることで、間口を広げる目的だ。

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで臨みました!!

町政を問う



一般質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会 検索



一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。

教育長 実行に移せるよう努力する。

町立小中学校の部活動

町長 12月議会を旨し説明する予定だ。

問 生ごみ分別の際、プラスチック袋を使用せず、破袋機の導入を止めるべきだが。

問 プラスチックごみは可燃ごみより高額な処理費で燃している。分別する意味合いは。

環境部長 令和4年4月に再商品化の法律が施行され、そのための協議を行っている。

問 プラスチックごみは可燃ごみより高額な処理費で燃している。分別する意味合いは。

問 もし許可が下りなければどうなるのか。

教育部長 営業できない。

問 暫定期間は5年間だ。その後の見直しは。

教育長 1年半を目処に最終決定をする。

問 工夫して対応する」とのことだが大丈夫か。

教育部長 一つの場所に1個の許可しか出ないので、千食になる直前に委託業者が保健所の許可を取ることになる。

問 今の安全基準を満たしていないが、運用をする恐れがあるが、その対応は。

教育部長 すでに、グリストラップを2つにし、対応済みだ。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

問 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。

教育部長 現在の200食でも水質基準を上回る数値が出た。千食になると給食排水が下山川を汚染する恐れがあるが、その対応は。



町民に寄り添った説明会を



金崎ひさ

誠意ある給食説明会を

教育長 案を練り直して理解をいただく



学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子供の学びが進化します。

学習指導要領の教育現場での認識

その他の質問

入札・プロポーザル ※無意識の偏見

町長 受け止め方には非常にいろいろ考え方がある。慎重に考えなければいけない。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。

問 貧困という言葉がアンコンシャスバイアスになっている。「生活が困窮」しているという言い方を使うべきでは。



伊藤航平

教育委員会と学校の距離感は

教育長 町教育委員会と先生たちの間隔は非常に近い



石岡実成



学校教育現場での
エシカルの進捗状況は

環境に配慮した教材を使用
している

教育部長

学校教育現場でのエシカル

問 教材全体の考え方や3R等について、教育委員会の意向と校長会での周知は。

教育部長 予算の都合もあるが、今後は、より環境に配慮した教材を使用していく意向であり、校長会議等でも議論している。

問 給食時の牛乳残渣が著しいようだが把握しているか。また、牛乳を飲まない申請をする際、医者からの診断書を求めるケースも見受けられ、学校によって対応が違うようだが。

教育長 牛乳の飲み残しがある事は把握している。費用もかかる診断書を求めているとすれば誤った認識であり学校側に周知する。

学校給食時の「黙食」

問 児童生徒が、一番に楽しむはずの給食を

無言でおくることの弊害が問題視されている。黙食を緩和する方向性については。

教育長 少しずつでも会話が許されるようになればと思う。県側と確認しながら町としての判断を校長会等で議論を進めていく。

避難所案内アプリ「VACAN Maps」

問 令和3年このシステム導入を提案し、令和4年4月より運用が始まったことまでは良かったが、周知が全然足りていない。更なる周知と利用率を上げるための施策は。

総務部長 町ホームページの構成を整理し、町民が即時目にするようにできるように周知も含め早急に対応する。また、LINEの防災画面からも連動できるようにしたい。

ふるさと納税の新たな施策

問 ゴルフ場やハマステーションに「ふるさと納税自販機」の設置を再検討してみてもいいか。

政策財政部長 実績を含め調査研究する。

その他 オーガニック給食の導入

エシカルの教材



Q5. 今後の木材を使用した教材購入の必要性を含めた議論は？

実際の町内小学校で使用されているプラスチック教材

近藤昇一



横須賀で問題を指摘される
事業者が、葉山港指定管理者に

県から説明をもらう機会を
設ける

町長

葉山港

問 日本ヨット発祥の地である葉山港の新たな指定管理業者が神奈川県から発表された。この業者をめぐっては横須賀市の管理する漁港区域内で無許可で工事を行ったことが明らかになっている。そのため、横須賀市議会は2021年9月、徹底した管理、監督を要望すると意見を付している。町長はどのように行動するのか。

町長 県から説明をもらう機会を設けたい。さまざまな工事が事後承認で行われているという点だが、葉山町の対応は。

町長 勝手な変更等は、あつてはならない。さまざまな情報が飛び交い、町民からも不安の声が寄せられている。横須賀市の港で行われてきたことを調査すべきでは。

町長 しっかりと情報収集したい。

問 勝手な工事はさせないという覚悟は。

町長 県を通じて意見を述べたい。

問 2023年4月から中学校給食を実施するため、上山口小学校調理室の改造を行っているが、住民説明会で排水問題と交通問題が指摘されている。どのように対応するのか。

教育部長 しっかりと検討している。

環境部長 「排水処理基本計画」では上山口地域は合併処理浄化槽を推奨している。

問 町は推奨している。検討する余地はない。

教育部長 合併浄化槽設置には時間がかかる。

問 交通問題では、通学路でもある町道整備の「基本構想」を示すべきでは。

町長 現状のままではいいとは思っていない。

問 花の木公園業務委託の入札で、予定価格の40%台で落札されている。地元業者の育成のためにも最低制限価格を導入すべきでは。

都市経済部長 見直しも含めて検討している。



葉山港 神奈川県ホームページより

土佐洋子



暗号通貨や
キャッシュレス化は

財源確保の策として検討を
進める

町長

暗号通貨

問 暗号通貨を利用しての寄附は。

町長 ふるさと納税制度を使った入りを考える。また、NFTを使い非代替的な町の財産とし、新たな財源確保の策として研究する。

問 キャッシュレス決済の導入は。

町長 各部署の特性や課題を十分に考慮しつつ、早急に検討を進めている。

政治参加や個人の尊厳

問 投票所で目の不自由な方のために、サインガードの持ち込み・設置、そして各投票所に1つの白黒反転ブースを用意できないか。

選管 問題があるとは思えない。県選管の見解等を把握し、しかるべき処置をしたい。可能性は十分大きく実施に努めるようにしたい。

地域防災力の要 消防団のありかた

問 水上バイク隊等の機能別消防団の導入は。

消防長 水上バイク隊を分団にお願いするのかなど、検討の一項目として捉えている。

問 民間の団体が海の事故などで救助にあたる際の、安全や補償など心配だが。

消防長 もし損害が生じた場合は、公務災害の適用を受けて補償ができる。

気候変動対策の取り組み

問 現在、役場庁舎内で農林水産省の実証実験が行われているが、その後の有効活用は。

総務部長 ※バイオリリックデザインを考えている。

問 町内でヤンバルトサカヤステが大発生しており町民が困っている。対応は。

町長 手段が全く見えていない状況で、強く課題意識は持っている。

環境部長 県も危機感を持って動向を注視している。効果的な対策の調査や、県や他市からの情報の集りに努めていく。

※生命・自然を感じられる環境を取り入れることで幸福感が得られるという考え



「ビッグレスキューかながわ」での水上バイクの活動

窪田美樹



ふれあいパス購入費補助と同等のタクシー券補助を

福祉部長 移動施策として研究する

環境に配慮したまちづくり

問 電気自動車充電スポットは町内に1カ所だけ。エコドライブへ商業施設等に設置補助は。
環境部長 三浦半島全体で協議を始めている。
問 キエロ口を利用していたが、高齢になり使えなくなったと聞く。自家処理のために高齢者など、電動生ごみ処理機購入補助増額は。
環境部長 町の生ごみの自家処理率は35%、削減率は1世帯78kg/年にあたる。電話調査時などで、現在の補助制度を知らせていく。
問 葉山の環境を守るため中学生も協力した環境基本計画だが、継続して身近に感じてもらえるよう学習タブレットに入れることは。
教育長 容量等も含め、検討したいと思う。
加齢性難聴者に補聴器購入費補助



安心して過ごせる放課後の居場所に補助を

問 愛川町でも補助が始まった。聴力検査への啓発や外出支援、認知症予防にも繋がるが。
福祉部長 関われることを前向きに検討する。
ふれあいパス購入補助と同等のタクシー券補助
問 バス利用ができない高齢者もいる。公平性からもバス・タクシー選択制補助の導入を。
福祉部長 移動支援施策として研究する。
粗大ごみを玄関先まで搬出する支援制度
問 ごみが溜まらないよう出しやすい支援を。
福祉部長 地域のつながりでの検討も一つだ。
家事援助等の産前ケア事業の創設
問 妊婦を守るため体調不良時等に必要では。
福祉部長 切れ目のない支援に務めている。
民間放課後児童クラブ利用料補助
問 兄弟利用・夏休み等長期休み時など、利用料負担を考え、調整をする人もいると聞くが。
福祉部長 各事業所に運営費補助はしているが、提供するプログラム等事業内容により料金設定も違う。どう関われるか研究したい。

山田由美



かまどベンチやトイレベンチの設置を

総務部長 前向きに考えたい

防災対策

問 今後は、屋外での避難生活が重要になる。南郷上ノ山公園に、かまどベンチやトイレベンチを設置し、車やテントでの宿泊訓練を実施してはどうか。学校の校庭でのテント宿泊訓練も行ってはどうか。
総務部長 前向きに考えたい。学校での宿泊型訓練は継続する。
南郷上ノ山公園活性化
問 ハイキングやジョギングの人にも、有料でシャワー室の利用を認めてはどうか。
教育部長 検討する。
問 グラウンド利用後の整備は、職員が有料で、トラクターで行うようにしてはどうか。
教育部長 職員による対応はシフト上厳しい。



南郷上ノ山公園のトラクター

役場職員増員
問 正規職員を増員すれば、技能も継承しやすく、災害時にも心強いのではないか。
総務部長 働き方の変革を視野に入れていく。
民生委員
問 公用スマホやタブレットで情報共有してもらい、若い世代の参加を求めているかどうか。
福祉部長 当面、現行の手法で情報共有する。
下水道事業
問 現在は標準活性汚泥法だが、当初計画の酸素活性汚泥法の酸素発生装置はまだ使えるのか。運転費が高額でも、第4系列の新設と比較した場合の経済性はどうか。
環境部長 稼働できるが、部品交換等が必要で、電気代が年600〜700万円かかる。長期的な金額は大差ないが、メンテナンス上も第4系列は必要だ。
問 酸素発生装置は撤去しないのか。
環境部長 国や県という協賛している。

伊東圭介



三浦半島中央道路北側区間の進捗状況は

町長

測量、地質調査結果に基づいた道路設計、環境調査等を行う段階

問 三浦半島中央道路北側区間の開通は、町全体の活性化、広域行政の推進、防災面から考えても重要な事業であると思うが、進捗状況は。
町長 測量、地質調査結果に基づいた道路設計、環境調査等を行う段階だ。イトーピアや葉桜地域の方々から、生活居住区域に大型車を含め多くの通過車両があり、事故の心配も寄せられている。
問 この関係地域住民の一部に、計画に反対する方もいると聞いているが。
町長 反対の方がいるのは、事実である。自宅の地下をトンネルが通ることについては、不安や心配があるのは当然である。不安を解消するために、県の協力を得て、専門的知見



通行を妨げる草

から説明をしていただく。今後も県、逗子市と一体となり地域の方々のご理解をいただけるように説明を尽くして、一刻も早いトンネル開通に向けて尽力する。
問 道路の維持管理と安全対策の実施状況は。
町長 補修、整備については、状況確認を行い、危険性や緊急性の高い路線を優先的に実施している。また、国道・県道については、県横須賀土木事務所との管理であり、安全、快適に利用できる道路環境を要望している。
問 近年、県道等の縁石や排水柵に土砂が堆積しており草木の繁茂している状況が目立つ。歩行者や自動車、二輪車の安全な通行の妨げになっている。以前は、道路清掃車が定期的を実施していたが、状況を把握しているか。
都市経済部長 数年前までは県土木事務所が委託で実施していた。予算の関係もあり近年は、実施していないとのこと。県土木事務所にも要望していく。

荒井直彦



イノシシ防護柵の設置に向けた検討は

環境部長
逗子市と早い段階で協議をする

鳥獣対策

問 イトーピア団地内の山側の住宅にイノシシの出没状況があるが、対策として逗子市と葉山町の境目である山頂に、防護柵を設置したかどうか。

環境部長 逗子市と協議した上で決める。

問 第3期葉山町鳥獣被害防止計画により、国と神奈川県と調整をしながら令和5年度の予算で500mの防護柵整備を計画している。県と連携しながら柔軟に対応してもらいたい。環境部長 計画の中の防護柵は農業被害の補助金だが、神奈川県と相談をする。

問 令和4年度だけでなく、5年度も継続して支援をいただけるようお願いできないか。副町長 この事業を継続的に進めるには県の

協力が必要なので、時期をみて県に願います。

南郷上ノ山公園の再整備

問 多目的グラウンドの改修時期は。

都市経済部長 手法とか工法、また、コストであるとか、令和5年度に向けて具体的に設計をしていく。

問 駐車場の有料化については。

都市経済部長 ささまざまな意見がある。夜間の警備の問題、防犯カメラをどこに設置するか、実施に向けて、再度検討を重ねている状況である。

問 この駐車場の売上げは、有効な財源にできるか。

都市経済部長 当然、財源に充当することは、可能だ。

その他の質問

国際姉妹都市（ホールドファストベイ市）との関係



防護柵の設置作業風景

中村和雄



人口減には増加戦略で対応を

町長
人口増加策を視野に検討したい

税収減、人口減に備えたまちづくり

問 財政状況は今も厳しいが、今後さらに厳しくなる。新たな公共施設を整備するなら今のうちだ。町民体育館や災害時の拠点施設、学校給食センターなどを併設した施設を、民間の力も借りて整備してはどうか。

町長 今後非常に厳しい状況になるものと覚悟しているが、もう少し見極めが必要であり、現在の優先順位を変えずにやってみよう。

問 これからはますます地域の力が必要になる。地域の活動を活発にするために、町内会館の整備促進のための基金をつくらないか。町長 町内会館の意義はよく分かる。何かしら講じられるよう努めたい。

問 合計特殊出生率が2.95という町がある。国や葉山町の2倍以上だ。人口減少を座して待つのではなく、子育てや教育、住みやすさなどを磨いて、増加策に打って出ないか。

町長 人口を増やすという目標はなかった。これまでとは方向性を変えて、人口増加に向けて打って出ることも視野に入れていきたい。

誰一人取り残されない町に

問 子どもの貧困やシングルマザー、中高年のひきこもり、非正規雇用の増大、一億総下流時代到来説など、今後支援が必要な人が増えることが懸念される。相談する人もなく地域で孤立している人に伴走型支援で継続的にかわれる相談窓口が必要と考えるが。

町長 課題を投げかけていただいた。今後の研究課題としていきたい。

問 NPO法人も含めて、町民が行きやすい相談窓口の検討を。

町長 町の担当窓口としての可能性についても併せて検討していきたい。



早く有効活用したい旧役場跡地

鈴木道子



学校給食費を無料にすべきだ

教育部長
令和5年度予算編成で検討する

インフルエンザ予防接種の無料化

問 コロナとインフルエンザの同時流行が懸念されている。インフルエンザ予防接種を無料にし、接種率を上げ予防をはかるべきだが。福祉部長 県内2市が無料だ。町は接種に向けた周知活動に注力し、接種率の向上を図る。

健康増進施設利用助成の拡充

問 健康増進施設利用助成の拡充を。福祉部長 助成対象施設拡大に向け調整する。

問 ※アピアランスケア推進でがん治療ウィッグの助成、また補聴器購入助成をすべきだが。福祉部長 ウィッグ購入助成は県内4市が実施している。情報収集し、検討していく。※外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア

学校給食・教育関連施策

問 子育て支援で、今後給食費無料はどうか。教育部長 令和5年度予算編成で、検討する。

問 給食センターについては近隣市を参考にし、広域連携や民間施設の利用も検討すべき。教育部長 多角度の検討が必要。参考にする。

問 情報連絡については、※ロイノートなどで利便性向上を高めるべきだが、どうか。教育部長 今後検討していく。

問 デジタル書籍の導入など読書環境の充実をすべきだがどうか。教育部長 町立図書館と学校図書館の連携など、子ども読書環境の推進に力を入れていく。

※インターネットを使って学習支援を行うためのアプリ

行政施策の確実な周知

問 助成制度などの周知を確実にすべきだが。政策財政部長 関係機関、自治会・町内会・商工会の協力を仰ぎ、広く伝える努力をする。

組み立て式授乳室の設置

問 移動可能な組み立て式授乳室がある。導入すべきだがどうか。総務部長 役場や他施設にも周知し検討する。



上山口小学校の給食室

飯山直樹



さまざまな手続きの
オンライン化は

総務部長
マイナンバーカードによる
手続き範囲の拡大を検討する

問 自治体DXは業務プロセスの変革だけでなく、組織のカルチャーなど全てに変革をもたらす革新的な取り組みとなる。業務効率改善で経常収支比率を減少できれば自由資金が増大し前進できる。重点項目の進捗状況は。
政策財政部長 業務効率改善がDX化の大きなウエイトを占める。重点項目は達成年度までに予定通り進めるべく、令和4年度より本格的に始動している。

問 組織編制と*ITリテラシーおよび戦略的思考を有する人材確保は。
*ITの活用能力
政策財政部長 ITに詳しい教育長に協力を仰ぎ、政策課と総務部が共同で基盤策定を行う。組織強化・変更、人材確保も考える。

問 ハード面の整備は。

総務部長 令和4年度中にモバイルPC化、電子決済化を進め、併せて業務用WiFi整備を検討する。令和5年度中にはテレワークも完全対応できるようセキュリティ・ネットワーク体制の確立を進める。

問 さまざまな手続きのオンライン化は。
総務部長 マイナンバーカードを使い、子育て、介護等の手続きをオンライン化した。今後は手続き範囲の拡大と独自サービスのオンライン化を検討する。

問 DX化推進に伴い、個人情報流出の危険度が急激に増大する。セキュリティ対策は。
総務部長 現段階で外部からのアクセスは高度なセキュリティのネットワークを介し、公的ネットワークは特殊専用線で外部アクセスを遮断している。

その他の質問 住環境の整備



自治体DX化推進の基盤となる
マイナンバーカード

議長からの報告

議員懇談会

専決処分報告

住民税非課税世帯等の臨時特別給付金事業に関して、当初積算の際にシステム会社の指示通りに予算計上したものの、20世帯分の不足が実際に発生すると判明し、1日も早い給付を行うため、2000万円の増額補正予算を専決処分したものです。

議会としては臨時給付金が素早く届くよう行政に対応を求めた上で認めました。

議員研修会

「人権と差別を考える」をテーマとした研修の5回目で、結びとなる講演です。講師には現在、東京理科大学非常勤講師で日本雑誌協会倫理専門委員など務めている西谷隆行氏をお招きし「言葉について」の研修を受けました。

言葉の選び方ひとつで誤解を招いたり他者を傷つけ、時には差別問題につながる懸念もあります。議員や行政幹部職員が議場で発する言葉は、瞬時に世界中に拡がる時代です。



西谷隆行講師

より一層識見を深めて発言しなくてはなりません。講演はさまざまな言葉遣いの事例を示して、それが適切か否かの問いかけをする形式で進められました。無意識に差別を引き起こす言葉や表現についての注意喚起や、話し始める際には、置かれている状況の把握に努め、事前にはっきりと頭の中で考え、整理してから発言することが肝要であるとのことでした。

逗子市議会との合同視察

逗子市と共同で進めている「葉山町クリーンセンター生ごみ資源化施設」の概要について、逗子市議会が来庁し、葉山町職員より新設の生ごみ資源化施設建設工事を含む、再整備事業の詳細説明を受けました。



葉山町クリーンセンターの現地視察

那須町交流視察研修会

令和3年5月に友好都市協定を結んだ栃木県那須町に全議員で、視察研修並びに議会議員交流のため訪問しました。



那須町による説明

面積は当町の20倍以上もある広大な土地に、数多くのレジャー施設や飲食店などが点在し、那須温泉神社や鹿の湯など、年間を通して観光客に人気のスポットに恵まれている自治体です。乳牛や肉牛の牧場、米や高原野菜の農地も多く、第1次産業が地域に根付いています。



殺生岩

研修では那須町の出前講座の実施状況や、議会が提案・施行した「ケアラー支援条例」について説明を受けました。各議員の所感、議会ホームページを閲覧ください。



議会BCP(業務継続計画)に基づく参集訓練

令和4年4月に発動した当計画に基づき、初めての参集訓練を実施しました。午前7時に三浦半島断層群の想定値であるマグニチュード7、震度6強の大規模地震が発生、葉山町災害対策本部が立ち上がった時点から訓練を開始しました。



マイタイムラインの説明

全議員で協議する案件が発生したとの想定での参集指示ですが、実際には議員各自のいる場所や避難所など地域での活動や被害状況の調査・報告に努めるとしています。

参集後には防災安全課職員より「マイタイムライン」の重要性や作成方法などの詳細説明を受け、その後本会議場で緊急地震速報のデモを流して「シェイクアウト訓練」も実施しました。今後は「マイタイムライン」の作成と参集時における被災状況の把握や、インターネットを利用した議会災害対策会議を開催する予定です。

議長 待寺真司

表紙説明

神奈川県と合同で、大規模災害を想定した実践的訓練である「ビッグレスキューかながわ」が実施されました。参加者は2千人規模になり、訓練では初となる手話通訳ボランティアも参加しました。



手話通訳の様子

町長行政報告

新型コロナウイルス関連

8月31日現在、累計感染者数は4063人、ワクチン接種は3回目接種が81.96%の2万663人が完了し、4回目接種は8867人が完了しました。今後はオミクロン株対応ワクチン接種も予定されています。

海水浴場開設

7月1日から8月31日まで3年ぶりに開設し、約9万人が来場しました。



今夏の一色海岸海水浴場

南郷上ノ山公園の体験コーナーでは、黒石県知事や多くの子ども、親子が水上バイクに乗っていました。



体験コーナーで水上バイクに乗船

次回定例会は...

11/30-12/15 の予定です。

| 議案審議 | 一般質問 | 各常任委員会 | 議会運営委員会 |
|-----------|-----------|----------|----------|
| 11/30 (水) | 12/12 (月) | 12/1 (木) | 12/6 (火) |
| 12/14 (水) | 12/13 (火) | 12/2 (金) | |
| | 12/14 (水) | 12/5 (月) | |

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させていただきます。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継は、スマートフォン、タブレットでも視聴できます。



▶▶▶
視聴はこちら



議会ホームページのトップに Google カレンダーが入りました。



録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

編集後記

新型コロナウイルスの猛威に怯え始めた2019年から、5回目のワクチン接種や「全国旅行支援」と、コロナと共に動く2022年へと変化しました。

11月から使える2度目の「葉山つつじカード」は、皆さまの楽しみのひとつになるかと思えます。

感染拡大の影響により経済活動がストップし、日常生活をどう送るか。経済が止まったことでCO₂の排出削減は、温暖化対策に繋がりました。環境を良くすることが経済を発展させ、経済の活性化により環境を良くする社会へと移り変わろうとしています。

環境や人々への思いを持った行動をと「はやまエシカルアクション」がすすめられ、エシカル消費も推進されています。一人ひとりの行動で葉山を守り動かしていきます。

11月3日 窪田美樹 記

議長 待寺 真司
議会広報常任委員会
飯山 直樹 鈴木 道子
山田 由美 金崎 ひさ
荒井 直彦 土佐 洋子
窪田 美樹